

津市**総**合計画

## オープンディスカッション

## みんなで津市のまちづくりを考えよう

現在、津市では平成25年度から29年度までの5年間のまちづくり計画である「津市総合計画後期基本計画」を策定中です。策定にあたり、市内の団体の代表者や有識者などで構成する津市総合計画審議会では、どのようなまちにしていけばよいかなどを議論し、市に対して意見を行っています。

今回、審議会では、より多くの市民の皆さんの意見をお聞きし、計画策定にあたっての意見や提言を行いたいとの思いから、「津市総合計画オープンディスカッション」を開催することになりました。皆さんの想いやアイデアを聞かせていただき、みんなで津市のまちづくりを考えましょう。

多数のご参加お待ちしております！

参加  
無料

10月16日(火) 18:00~20:00

市民オープンステージ  
(津センターパレス地下1階)

- どなたでも自由に参加できます●当日参加も可能ですが会場準備の都合により、あらかじめ参加を希望する人は、Eメール(✉sokeisin@city.tsu.lg.jp)または電話(☎229-3101)、ファクス(FAX229-3330)でお名前・参加人数のご連絡をお待ちしています
- ディスカッションの様子はインターネットを通じて生中継を行います●インターネットによる意見も募集します●ディスカッションの結果などはケーブルテレビ津市行政情報番組・津市ホームページ・広報津でお知らせします

問い合わせ 津市総合計画審議会事務局(政策課内)  
☎229-3101 FAX229-3330

①  
人物編

## 津市・上富良野町友好都市提携15周年を迎えて

問い合わせ 市民交流課 ☎229-3102 FAX229-3366

今年7月30日、津市と北海道空知郡上富良野町は「友好都市提携15周年」を迎えました。今号から数回にわたり、津市と上富良野町との交流を紹介していきます。

津市と上富良野町のつながりは、明治30年4月12日、安東村(現在の津市納所町)出身の田中常次郎さんたち8人が、北海道を開拓するために富良野原野にある1本の楡の木にたどり着き、新しい生活の第一歩を踏み出したことがきっかけです。

その後、多くの方が北海道に渡り、その中に旧久居市、旧芸濃町、旧美里村、旧安濃町、旧一志町出身の人もいたことから、上富良野町とのつながりは、現在の津市全体としてのつながりでもあります。田中常次郎さんは、たくさんの仲間と供に幾多の苦勞を乗り越えて、現在の上富良野町



田中常次郎さんの銅像

の元となる町を築き上げました。

そして大正15年、上富良野の東側にある十勝岳が大噴火を起こし、上富良野は噴火と泥流で壊滅的な被害を受けます。多くの人たちが「復興は無理」と考えていましたが、「必ず復興させる」という強い意思をもった当時の上富良野村長がいました。それが、一身田村(現在の津市一身田町)出身の吉田貞次郎さんでした。



吉田貞次郎さん

吉田貞次郎さんと彼を信じた農民たちの血のにじむような努力が実り、噴火から8年後の昭和8年には、以前のように田んぼで米の収穫ができるようになり、上富良野は復興を成し遂げました。

田中常次郎さんは「開拓の祖」として、吉田貞次郎さんは「泥流と戦った村長」として、その功績は今も上富良野町でたたえられ、多くの人々に語り継がれています。